

ユーシン

景況レポート

Number.111
(2022.1~3月期)

結城信用金庫

■このレポートは、当金庫のお客様231企業(回答企業230企業)について、景気の現状と今後の見通しを調査したものです。

調査結果の
あらまし

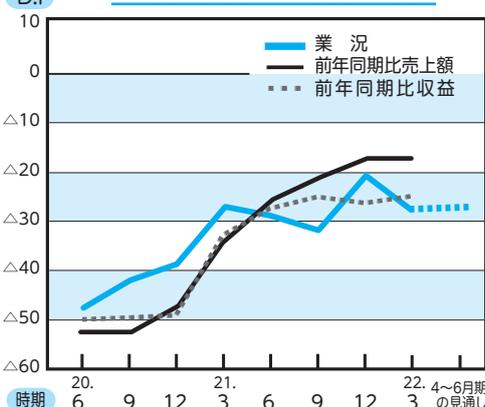
概況(1月▶3月期)

サービス業で改善、他業種は横ばいもしくは低下

茨城県西地域の中小企業の業況判断D.I(「良い」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた企業の割合を差し引いた指標)は△28.3と、2021年10~12月期(前期)の調査より7.4ポイント低下し、景況感は悪化しました。業種別では、小売業、建設業、不動産業で前期比横ばい、製造業で同比15.3ポイント、卸売業で同比22.7ポイント低下しましたが、サービス業で同比4.2ポイント改善しました。項目別では、売上額判断D.Iが△23.0と前期比9.5ポイント、収益判断D.Iが△25.7と同比5.7ポイントともに低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△17.8、前期比0.4ポイント低下、同収益判断D.Iが△25.2、同比1.3ポイント改善しました。雇用面では、人手過不足判断D.Iが△10.0と前期比2.6ポイント低下し、人手不足感が強まりました。また、前期比残業時間D.Iにおいては前期比5.6ポイント低下しました。借入金の動きでは、「借入した」が前期比0.4ポイント上昇しましたが、借入難易度は、特に大きな変化は見られませんでした。経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が37.4%、「原材料高」が28.3%、「同業者間の競争激化」が27.0%と上位に挙げられました。

また、特別調査の「最近の原材料・仕入価格の上昇により収益にどのような影響を受けていますか」の質問に対し、「多少悪影響がある」との回答が52.6%と最も多く、次いで「ほとんど影響はない」との回答が24.4%という結果となりました。

D.I 全業種総合 主要指標の推移



◎業況判断D.I=「良い」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた企業の割合を差し引いた指標 ◎特別調査の詳細は8~9ページに掲載しています

3ヶ月予報

見通し(4月▶6月期)

業況の見通し判断D.Iは△27.4、当期実績比0.9ポイント改善の見込

来期は、製造業・卸売業・不動産業で改善を見込んでいます。項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比5.6ポイント、収益判断D.Iでは同比3.1ポイントともに改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比0.9ポイント低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比0.9ポイント、残業時間判断D.Iが同比0.9ポイントともに低下の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が60.4%、「販路を広げる」が32.6%、「人材を確保する」が16.5%と上位に挙げられました。

景況天気図

(この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました)

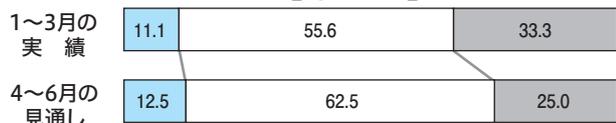
| 業種名 | 時期 | 3年10月~12月 | 4年1月~3月 | 4年4月~6月見通し | 概 | 要 |
|-------|----|-----------|---------|------------|--|---|
| 総合 | | | | | 業況判断D.Iは、7.4ポイント低下し△28.3。来期は、0.9ポイント改善し△27.4の見通し。 | |
| 製造業 | | | | | 業況判断D.Iは、15.3ポイント低下し△22.2。来期は、9.7ポイント改善し△12.5の見通し。 | |
| 卸売業 | | | | | 業況判断D.Iは、22.7ポイント低下し△50.0。来期は、6.2ポイント改善し△43.8の見通し。 | |
| 小売業 | | | | | 業況判断D.Iは、横ばいの△46.3。来期は、4.9ポイント低下し△51.2の見通し。 | |
| サービス業 | | | | | 業況判断D.Iは、4.2ポイント改善し△25.8。来期は、6.5ポイント低下し△32.3の見通し。 | |
| 建設業 | | | | | 業況判断D.Iは、横ばいの△11.1。来期は、13.9ポイント低下し△25.0の見通し。 | |
| 不動産業 | | | | | 業況判断D.Iは、横ばいの△11.1。来期は、11.1ポイント改善し0.0の見通し。 | |

好調 ← → 低調 / 業況改善 業況悪化 業況変化なし

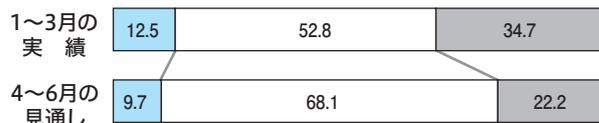
■ 製造業

回答企業数72企業(回答率100%)

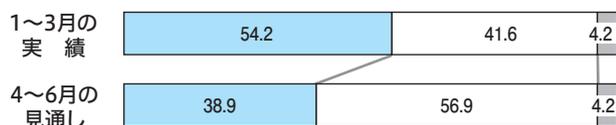
【業況】



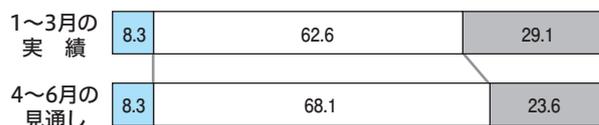
【売上額】



【原材料価格】



【収益】



■ 増加・やや増加(良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図



概況(1月▶3月期)

業況判断D.Iは△22.2、前期比15.3%の低下

項目別では、売上額判断D.Iが△22.2と前期比9.7%、収益判断D.Iが△20.8と同比5.5%ともに低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△13.9、前期比6.9%、同収益判断D.Iが△22.2、同比2.8%ともに改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△8.3と前期比6.9%低下し、人手不足感が強まりました。また、前期比残業時間D.Iは△5.6と前期比9.8%低下しました。

借入金の動きでは、「借入した」が19.4%（前期22.2%）、「予定あり」が11.1%（同11.1%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は11.1%（前期8.3%）となりました。

経営上の問題点では、「原材料高」が47.2%、「売上の停滞・減少」が38.9%、「利幅の縮小」が25.0%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報



見通し(4月▶6月期)

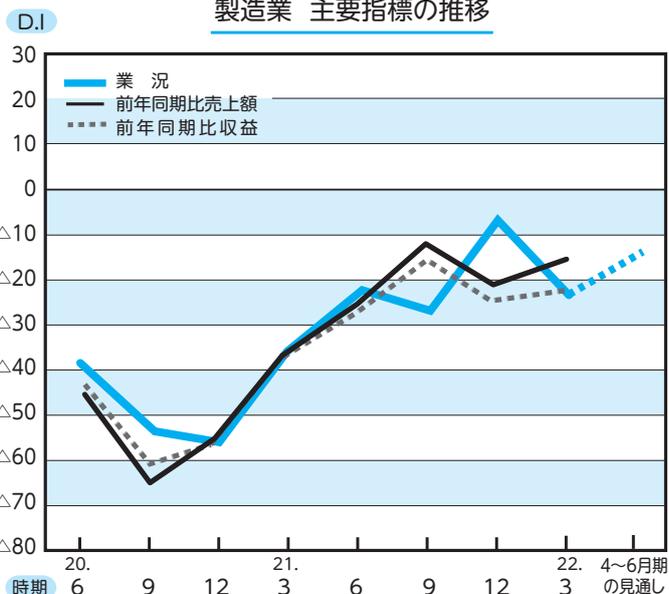
業況の見通し判断D.Iは△12.5、当期実績比9.7%改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比9.7%、収益判断D.Iが同比5.5%ともに改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比4.2%改善を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比2.8%低下、残業時間判断D.Iが同比横ばいの見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が59.7%、「販路を広げる」が43.1%、「人材を確保する」が18.1%と上位に挙げられました。

製造業 主要指標の推移



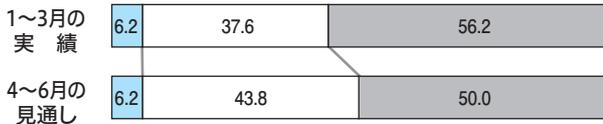
調査員のコメントから

受注状況は安定しているが、仕入価格の上昇と原材料の納入に時間を要していることから、今後の業況や収益の悪化が懸念される。

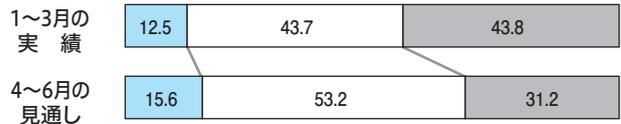
■ 卸 売 業

回答企業数32企業(回答率97.0%)

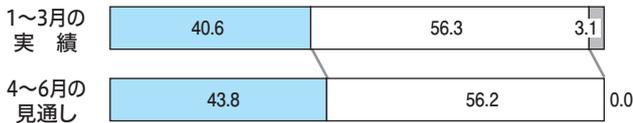
【業 況】



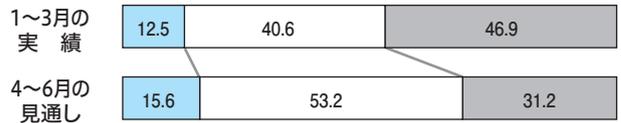
【売上額】



【仕入価格】



【収 益】



増加・やや増加 (良い・やや良い)
 変わらず(変化無し)
 やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図

概況(1月▶3月期)

業況判断D.Iは△50.0、前期比22.7%の低下



項目別では、売上額判断D.Iが△31.3と前期比22.2%、収益判断D.Iが△34.4と同比19.2%ともに低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△25.0、前期比9.8%、同収益判断D.Iが△37.5、同比16.3%ともに低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが0.0と前期比横ばいにより、人手不足感は適正を示しています。また、前期比残業時間D.Iは△12.5と前期比12.5%低下しました。

借入金の動きでは、「借入した」が15.6% (前期12.1%)、「予定あり」が15.6% (同12.1%)を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は3.1% (前期9.1%)となりました。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が53.1%、「同業者間の競争激化」が25.0%、「取引先の減少」が21.9%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報

見通し(4月▶6月期)

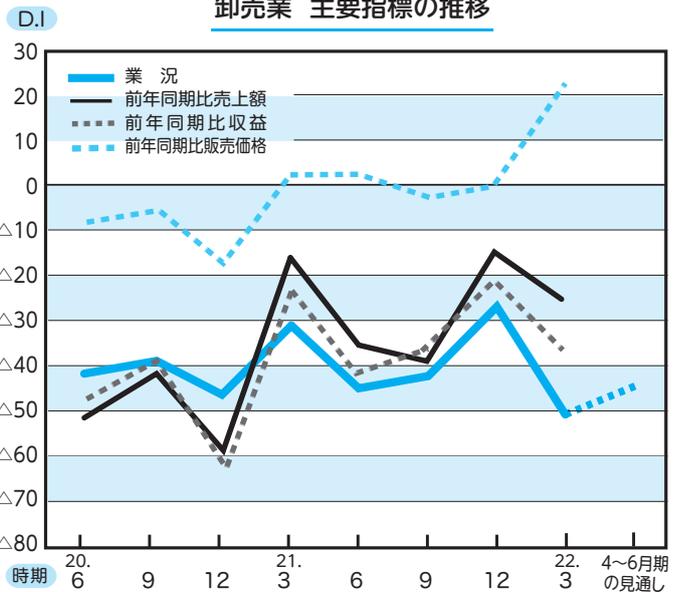
業況の見通し判断D.Iは△43.8、当期実績比6.2%改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比15.7%、収益判断D.Iが同比18.8%ともに改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iでは当期実績比12.5%改善を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比3.1%低下、残業時間判断D.Iが同比横ばいの見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が71.9%、「販路を広げる」が37.5%、「情報力の強化」が15.6%と上位に挙げられました。

卸売業 主要指標の推移



調査員のコメントから

作業場の衛生面管理を強化し、安全な商品提供を心掛けている。なお、まん延防止等重点措置適用の影響により売上が伸び悩んでいる。

■ 小 売 業

回答企業数41企業(回答率100%)

【業 況】

| | | | |
|----------|-----|------|------|
| 1~3月の実績 | 7.3 | 39.1 | 53.6 |
| 4~6月の見通し | 7.3 | 34.2 | 58.5 |

【売上額】

| | | | |
|----------|------|------|------|
| 1~3月の実績 | 14.6 | 34.2 | 51.2 |
| 4~6月の見通し | 19.5 | 36.6 | 43.9 |

【仕入価格】

| | | | |
|----------|------|------|-----|
| 1~3月の実績 | 53.7 | 41.4 | 4.9 |
| 4~6月の見通し | 56.1 | 36.6 | 7.3 |

【収 益】

| | | | |
|----------|-----|------|------|
| 1~3月の実績 | 7.3 | 34.2 | 58.5 |
| 4~6月の見通し | 9.8 | 41.4 | 48.8 |

■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図



概況(1月▶3月期)

業況判断D.Iは△46.3、前期比横ばい

項目別では、売上額判断D.Iが△36.6と前期比4.9ポイント、収益判断D.Iが△51.2と同比4.9ポイントともに低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△34.1、前期比12.2ポイント、同収益判断D.Iが△46.3、同比12.2ポイントともに改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△4.9と前期比2.5ポイント低下し、人手不足感が強まりました。また、前期比残業時間D.Iは△9.8と前期比4.9ポイント

下しました。

借入金の動きでは、「借入した」が12.2%（前期19.5%）、「予定あり」が9.8%（同12.2%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は7.3%（前期7.3%）となりました。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が43.9%、「大型店との競争激化」が36.6%、「同業者間の競争激化」が31.7%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報



見通し(4月▶6月期)

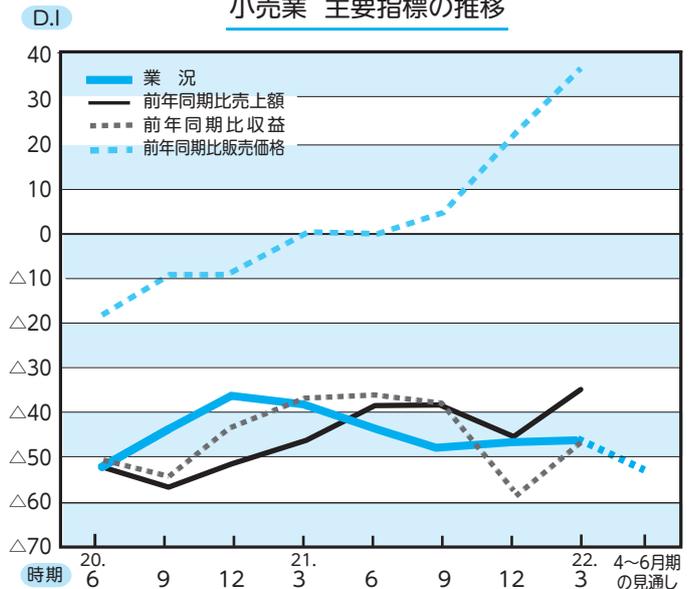
業況の見通し判断D.Iは△51.2、当期実績比4.9ポイント低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比12.2ポイント、収益判断D.Iが同比12.2ポイントともに改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比2.4ポイント低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比2.4ポイント低下、残業時間判断D.Iが同比2.5ポイント改善の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が61.0%、「品揃えを改善する」が26.8%、「宣伝・広告の強化」が17.1%と上位に挙げられました。

小売業 主要指標の推移



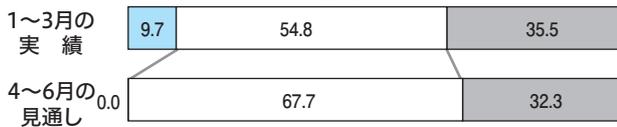
調査員のコメントから

原油価格の高騰により材料価格が上昇し利幅が縮小している。また、材料の入荷遅れ等も売上に影響を来している。

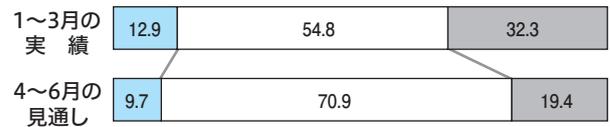
■ サービス業

回答企業数31企業(回答率100%)

【業況】



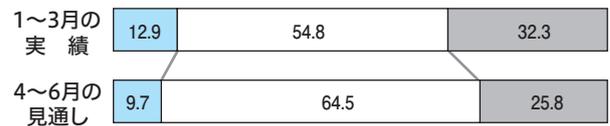
【売上額】



【材料価格】



【収益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図



概況(1月▶3月期)

業況判断D.Iは△25.8、前期比4.2%の改善

項目別では、売上額判断D.Iが△19.4と前期比6.1%低下、収益判断D.Iが△19.4と同比0.6%改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△12.9、前期比6.2%、同収益判断D.Iが△12.9、同比2.9%ともに低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△9.7と前期比10.3%改善し、人手不足感がやや緩和しました。また、前期比残業時間D.Iは△3.2と前期比0.1%改善しました。

借入金の動きでは、「借入した」が9.7% (前期6.7%)、「予定あり」が3.2% (同6.7%)を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は6.5% (前期10.0%)となりました。

経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」が41.9%、「売上の停滞・減少」・「材料価格の上昇」がそれぞれ25.8%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報



見通し(4月▶6月期)

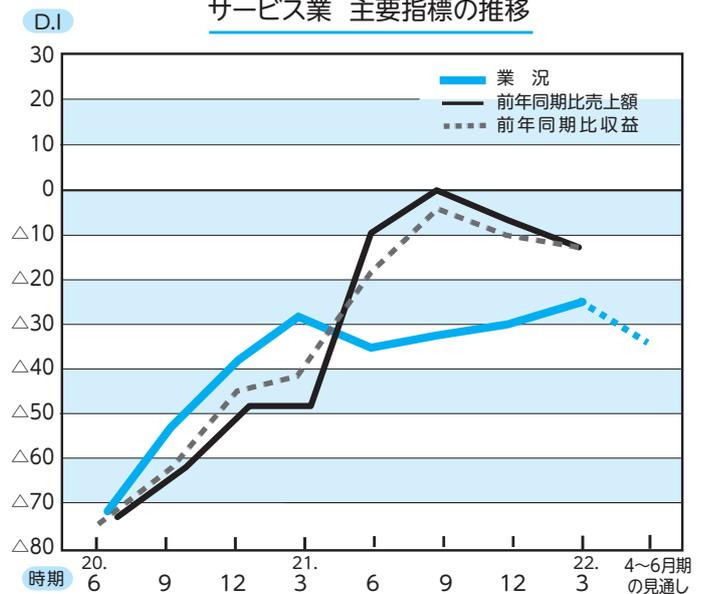
業況の見通し判断D.Iは△32.3、当期実績比6.5%低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比9.7%、収益判断D.Iが同比3.3%ともに改善を見込んでいます。また、材料価格判断D.Iは当期実績比9.7%低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比3.2%低下、残業時間判断D.Iが同比3.2%改善の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が54.8%、「販路を広げる」が38.7%、「宣伝・広告の強化」が22.6%と上位に挙げられました。

サービス業 主要指標の推移



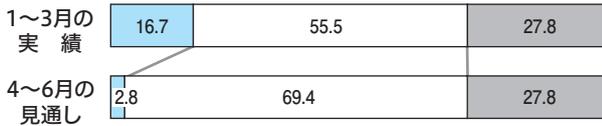
調査員のコメントから

新型コロナウイルスの影響により、一時期減少傾向にあった顧客も戻りつつある。しかし、先行きは不透明で、仕入先の倒産等もあり業績への影響が懸念される。

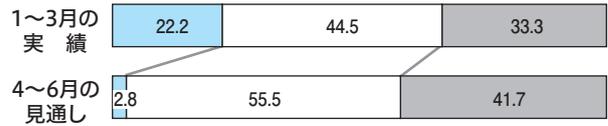
■ 建設業

回答企業36企業(回答率100%)

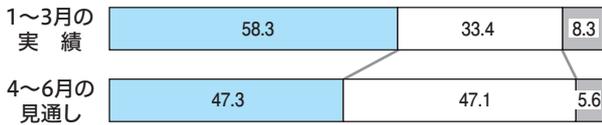
【業況】



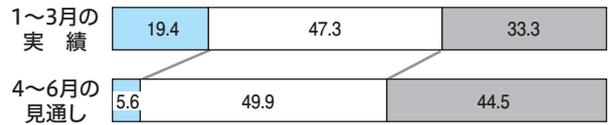
【売上額】



【材料価格】



【収益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図

概況(1月▶3月期)

業況判断D.Iは△11.1、前期比横ばい

項目別では、売上額判断D.Iが△11.1と前期比2.8ポイント、受注残判断D.Iが△27.8と同比11.1ポイントともに低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△22.2、前期比13.9ポイント低下、同収益判断D.Iが△22.2、同比2.8ポイント改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△25.0と前期比横ばいで、人手不足感の強まりに変化はありません。また、前期比残業時間D.Iは5.6と前期比2.8ポイント上昇し、やや増加を示しています。

借入金の動きでは、「借入した」が19.4%(前期19.4%)、「予定あり」が13.9%(同13.9%)を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は11.1%(前期11.1%)となりました。

経営上の問題点では、「材料価格の上昇」が63.9%、「売上の停滞・減少」が33.3%、「同業者間の競争激化」が30.6%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報

見通し(4月▶6月期)

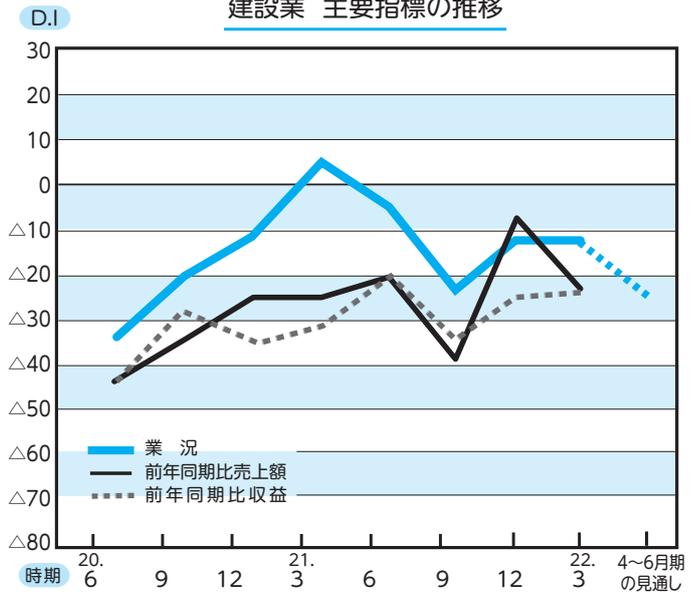
業況の見通し判断D.Iは△25.0、当期実績比13.9ポイント低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比27.8ポイント、収益判断D.Iが同比25.0ポイントともに低下を見込んでいます。また、材料価格判断D.Iは当期実績比8.3ポイント低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比8.3ポイント改善、残業時間判断D.Iが同比11.2ポイント低下の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が72.2%、「人材を確保する」が36.1%、「販路を広げる」が30.6%と上位に挙げられました。

建設業 主要指標の推移



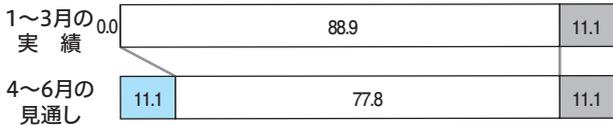
調査員のコメントから

ウッドショックにより材料費が上昇しており収益を圧迫している。また、材料の調達遅延の発生により、工期遅れを招かぬよう留意している。

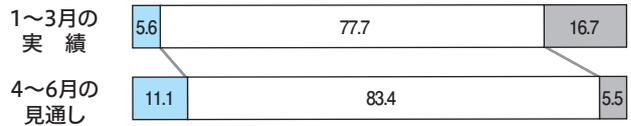
■ 不動産業

回答企業数18企業(回答率100%)

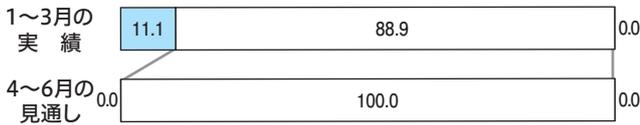
【業況】



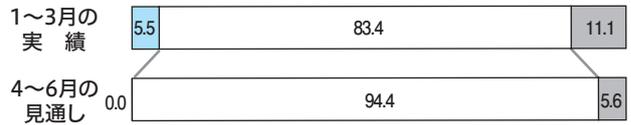
【売上額】



【仕入価格】



【収益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図

概況(1月▶3月期)

業況判断D.Iは△11.1、前期比横ばい



項目別では、売上額判断D.Iが△11.1と前期比16.7%、収益判断D.Iが△5.6と同比11.2%ともに低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが16.7、前期比5.5%低下、同収益判断D.Iが5.6、同比5.6%改善しました。雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△16.7と前期比16.7%低下し、人手不足感は強まりました。また、前期比残業時間D.Iは5.6と前期比5.5%低下しましたが、やや増加を示しています。

借入金の動きでは、「借入した」が33.3% (前期11.1%)、「予定あり」が33.3% (同22.2%)を示しています。

経営上の問題点では、「利幅の縮小」・「商品物件の不足」がそれぞれ27.8%、「同業者間の競争激化」が22.2%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報

見通し(4月▶6月期)

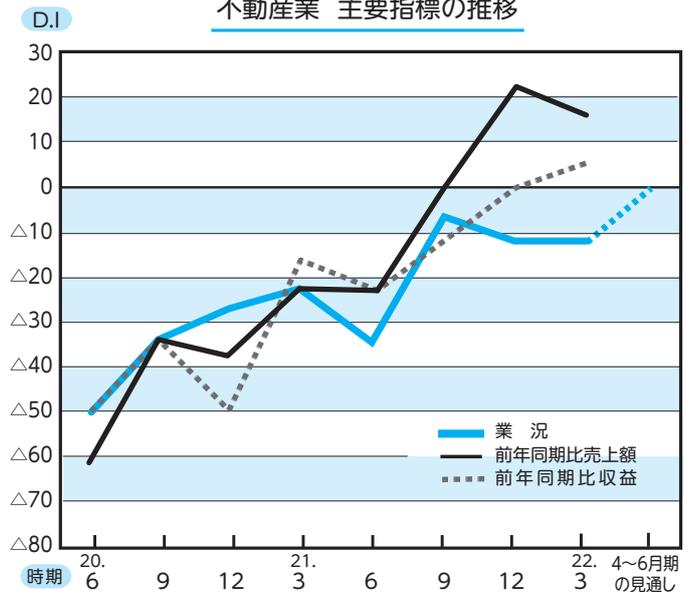
業況の見通し判断D.Iは0.0、当期実績比11.1%改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比16.7%改善、収益判断D.Iが同比横ばいを見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比 5.6% 低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比 0.0%、残業時間判断D.Iが同比 0.0%ともに横ばい見通しとなっています。

当面の重点施策では、「販路を広げる」が50.0%、「情報力の強化」が44.4%、「宣伝・広告の強化」が38.9%と上位に挙げられました。

不動産業 主要指標の推移



調査員のコメントから

ネット情報の高度化から、自社情報の差別化を図り、消費者から選ばれる店舗づくりに努めている。

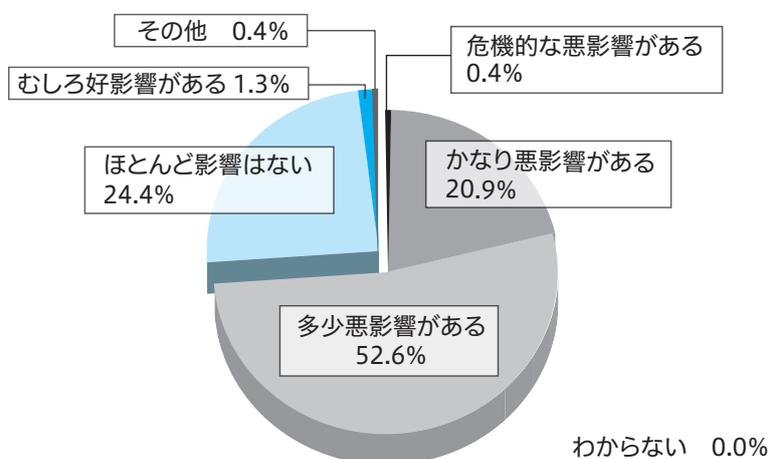
特別
調査原材料・仕入価格の上昇による
中小企業への影響について

「原材料・仕入価格の上昇による中小企業への影響」について調査を実施しました。

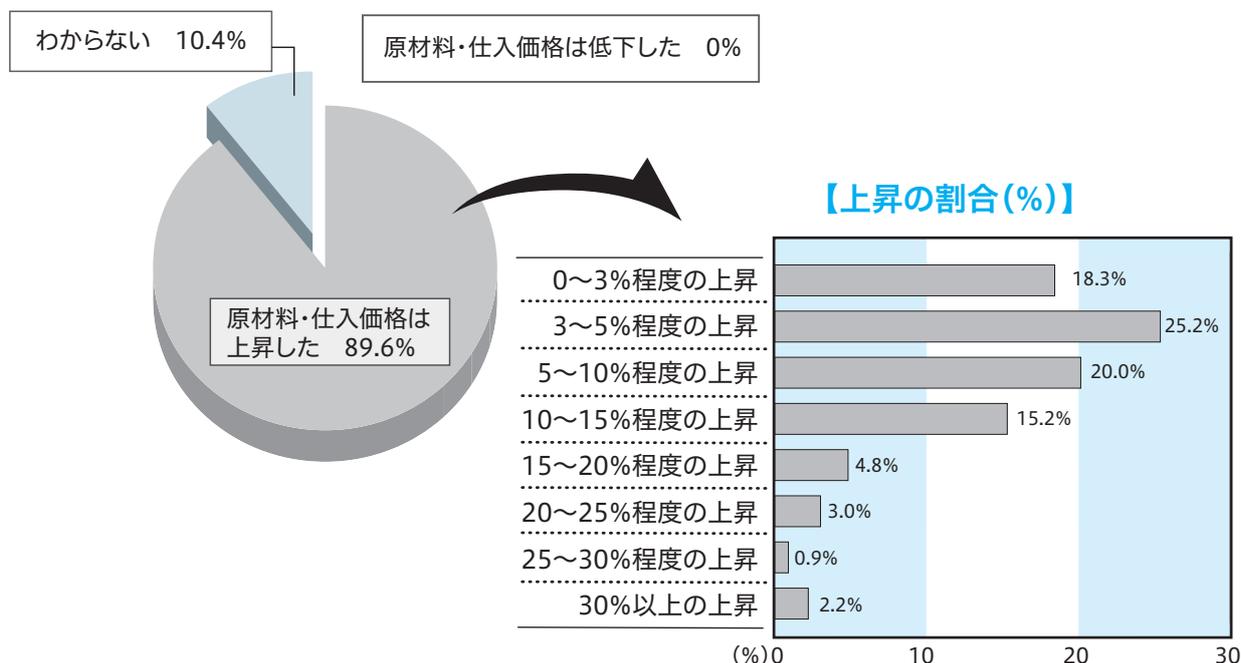
「最近の原材料・仕入価格の上昇により収益にどのような影響を受けていますか」の質問に対し、「多少悪影響がある」との回答が52.6%と最も多い結果となりました。また、「原材料・仕入価格は、1年前と比較してどの程度変化しましたか」の質問に対し、「3～5%程度の上昇」との回答が25.2%と最も多い結果となりました。

そのほか、「原材料・仕入価格の上昇のうち、どの程度を販売価格に転嫁できますか」を、次のように取り纏めました。

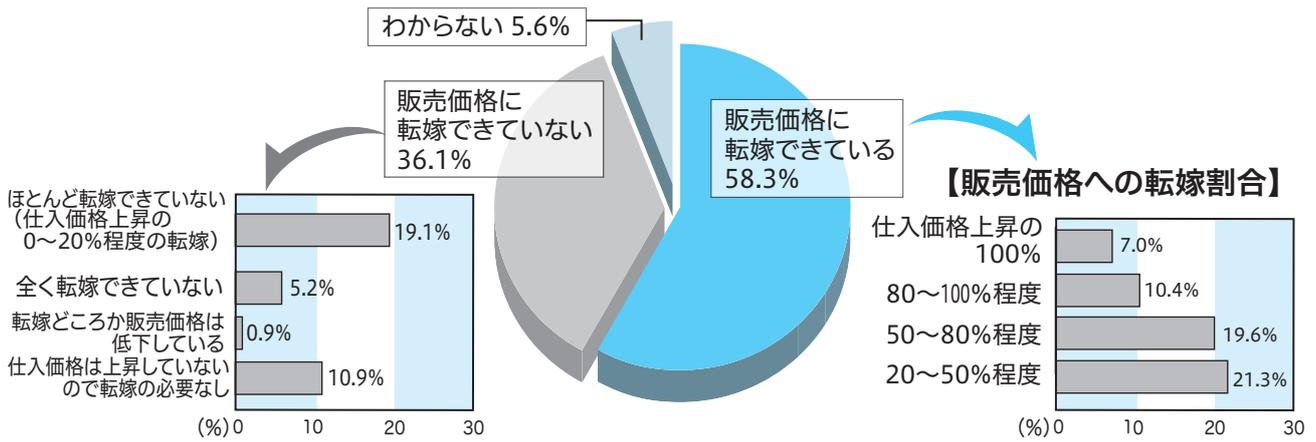
問1 最近の原材料・仕入価格の上昇により収益にどのような影響を受けていますか。



問2 原材料・仕入価格は、1年前と比較してどの程度変化しましたか。

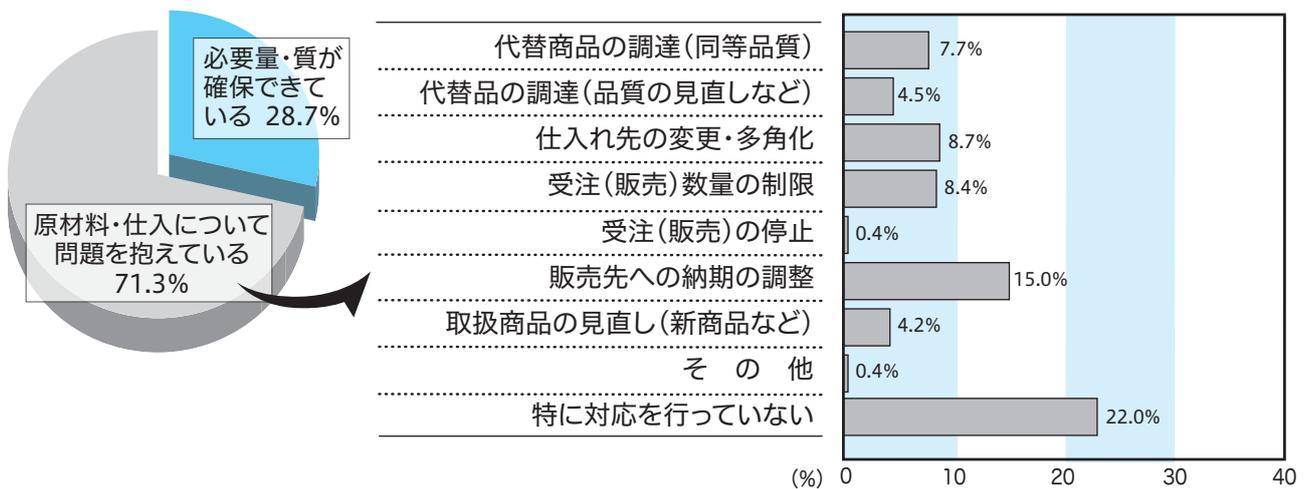


問3 原材料・仕入価格の上昇のうち、どの程度を販売価格に転嫁できていますか。



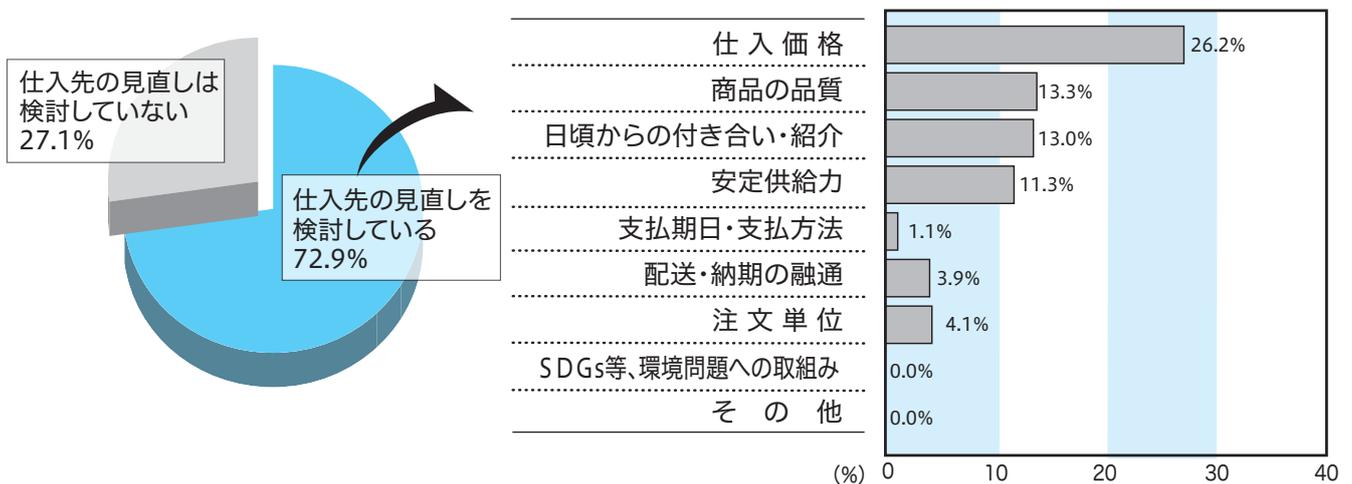
問4 原材料・仕入については、価格の上昇のほか、調達遅延、数量確保困難などといった声も聞かれています。貴社では、各種資材や製商品の量や質は確保できていますか。

【原材料・仕入について現在行っている対策】



問5 仕入の困難化に伴い、仕入先を見直す動きも出ています。貴社では、仕入先の見直し等を検討するにあたって、重視する点がありますか。

【仕入先の見直し等を検討するにあたって重視する点】



提携事業所にお勤めのみなさまへ

QRコードを読み取っていただく
と結城信用金庫のホームページに
アクセスできます。

職域サポート契約制度

職域サポート契約制度とは？

当金庫と職域サポート契約制度を締結いただいている提携事業所にお勤めの皆様全員が対象となり、各種ローンをご利用される場合、特別金利でご利用いただける制度です。

提携事業所は、次のいずれかの要件も満たすものとします。

- ①当金庫営業区域内で事業を営んでいる法人・個人事業主（従業員数5名以上）であること。
- ②手形交換または電子債権記録機関の取引停止処分のないこと。
- ③当金庫との取引の有無は問いません。（当金庫営業区域内の地方公共団体等）

ご利用いただける方

（右記の条件をすべて満たされる方）

● 契約先の代表者、役員または従業員の方

● 申込時の年齢が20歳以上の方 ● 保証会社の保証が得られる方

下記の
ローン商品の金利を
店頭表示金利から

年1.50%

引き下げます。

※ただし、他の金利引き下げ適用との重複はできません。

職域サポート契約制度の対象ローン（一社）しんきん保証基金6商品

一般個人ローン

ご融資金額 500万円以内

ご利用期間 10年以内

ブライダルローン

ご融資金額 500万円以内

ご利用期間 10年以内

カーライフプラン

ご融資金額 500万円以内

ご利用期間 10年以内

教育プラン

ご融資金額 500万円以内^(※1)

ご利用期間 10年以内^(※2)

(※1) 6年制大学の場合は1,000万円以内

(※2) 6年制大学の場合は16年以内

子育て応援プラン

ご融資金額 100万円以内

ご利用期間 10年以内

リフォームプラン

ご融資金額 1,000万円以内

ご利用期間 15年以内

商品の詳しい内容につきましては、お近くの窓口またはホームページにてご確認ください。

※上記ローンにつきましては、事前に審査があり、審査結果によってはご希望に添えない場合がございます。

※勤務先を通じてお申込みする必要はありません。直接当金庫の担当者へご連絡ください。

また、お申込みおよびお申込み内容等は個人情報ですので、勤務先へお知らせすることは一切ございません。

結城信用金庫は2022年5月26日
創立120周年を迎えます。

これからも地域の皆さまとともに
歩んでまいります。変わらぬご支援を
お願い申し上げます。

2023年版カレンダー 「ユースンのある街」写真コンテスト

結城信用金庫の店舗がある街で未来に残しておきたい
風景・街並み・祭りなどをテーマに写真コンテストを開催中！
応募作品の中から優秀作品を選定し、2023年のカレンダー
に採用します。

※応募要領につきましては当金庫ホームページをご覧ください。

— 後 記 —

ユースン景気動向調査に、ご理解とご協力を頂きまして、厚くお礼申し上げます。

皆さまのご意見、ご希望をどしどしお寄せください。

結城信用金庫営業統括部

〒307-8601 結城市大字結城557番地
TEL(0296)32-2110 FAX(0296)33-0414
<http://www.shinkin.co.jp/yuki/>